

# 時のマヌカン

都市の時代の断層が生み出した遺構エレメントを衣服とみため、それらを都市の中で脱がせたり着させするマヌカンのような建築を提案する。

## 第1章 - 解体と保存と再構築 -

歴史的な建物や街並みを解体し、その残骸を再利用して新しい建物や街並みを創出する。これは、都市の歴史と文化を継承しながら、新しい都市の発展を実現するための重要な手段である。

## 第2章 - マヌカンのようにつくる -

歴史的な建物や街並みを解体し、その残骸を再利用して新しい建物や街並みを創出する。これは、都市の歴史と文化を継承しながら、新しい都市の発展を実現するための重要な手段である。



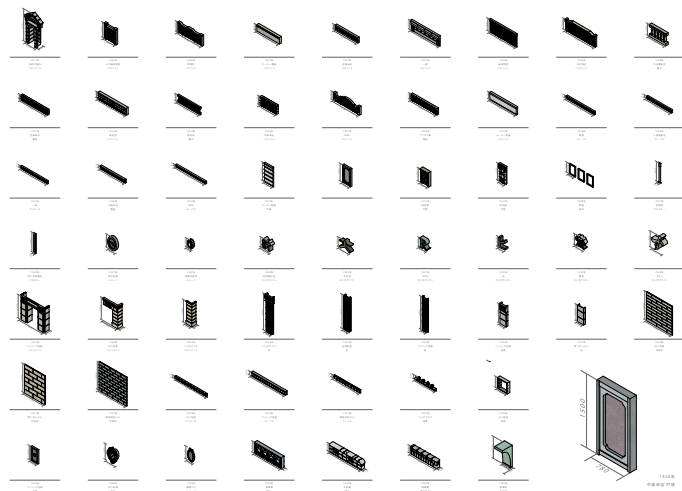
## 第3章 - 建築因子の定義 -

建築因子を定義し、その要素を整理して、新しい建物や街並みを創出するための重要な手段である。



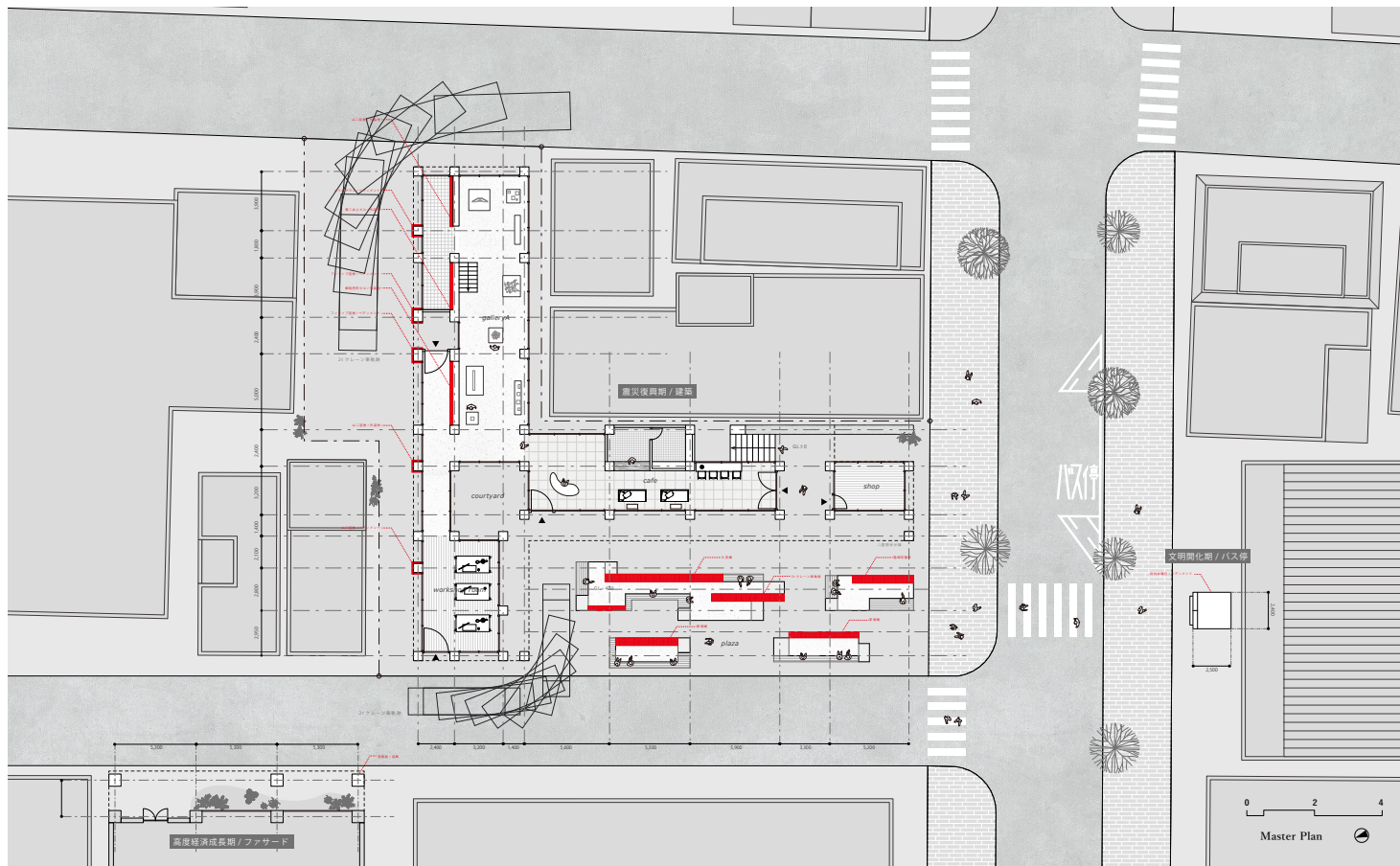
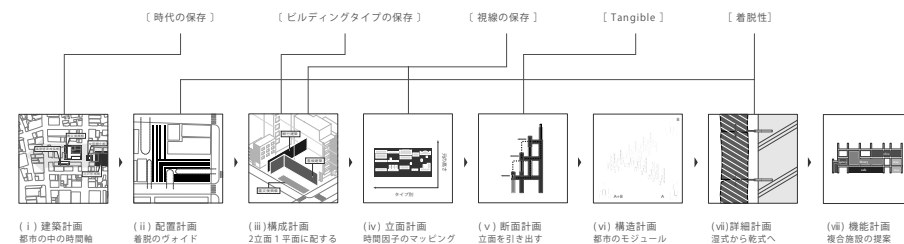
## 第5章 - 建築因子を含む構築物 -

歴史的な建物や街並みを解体し、その残骸を再利用して新しい建物や街並みを創出する。これは、都市の歴史と文化を継承しながら、新しい都市の発展を実現するための重要な手段である。



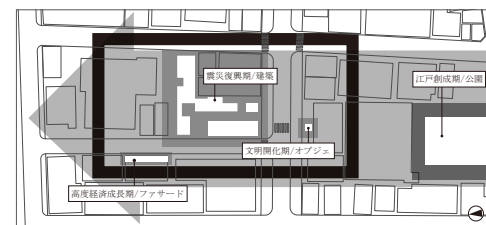
## 第8章 - 設計手法：立面から建築へ -

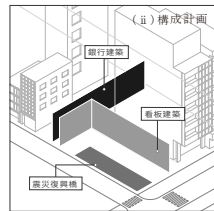
第8章の調査結果により各年代で残存するモノにばらつきが出た。そこで旧日本橋エリアにおいてはその個数と形態を検討し、文明開化期からオブジェを、震災復興期の倉庫建築・銀行建築・震災復興期から建築を、経済成長期からはファサードを設計する。



## 第9章 - マスタープラン：都市の時間軸 -

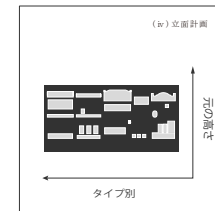
対象敷地を旧日本橋内にある堀留児童公園の北側とする。堀留児童公園は江戸形成時に河川が流れていた場所であり物流の拠点として栄えていた。現在は埋め立てられそのリニアな形状がそのまま公園となっている。リニアな形状を最も古い時代区分である江戸形成期のモノとして読み替え、北側に時代が進むようにオブジェ・建築・ファサードを計画し都市の中に時間軸を形成する。





### 2立面 1平面に配する

〔ビルディングタイプの保存〕より震災復興期の看板建築、銀行建築、震災復興棟の建築因子を周辺の環境などから図のように2つの立面と1つの平面にゾーニングする。



### 建築因子のマッピング

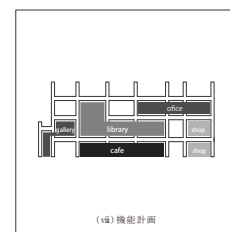
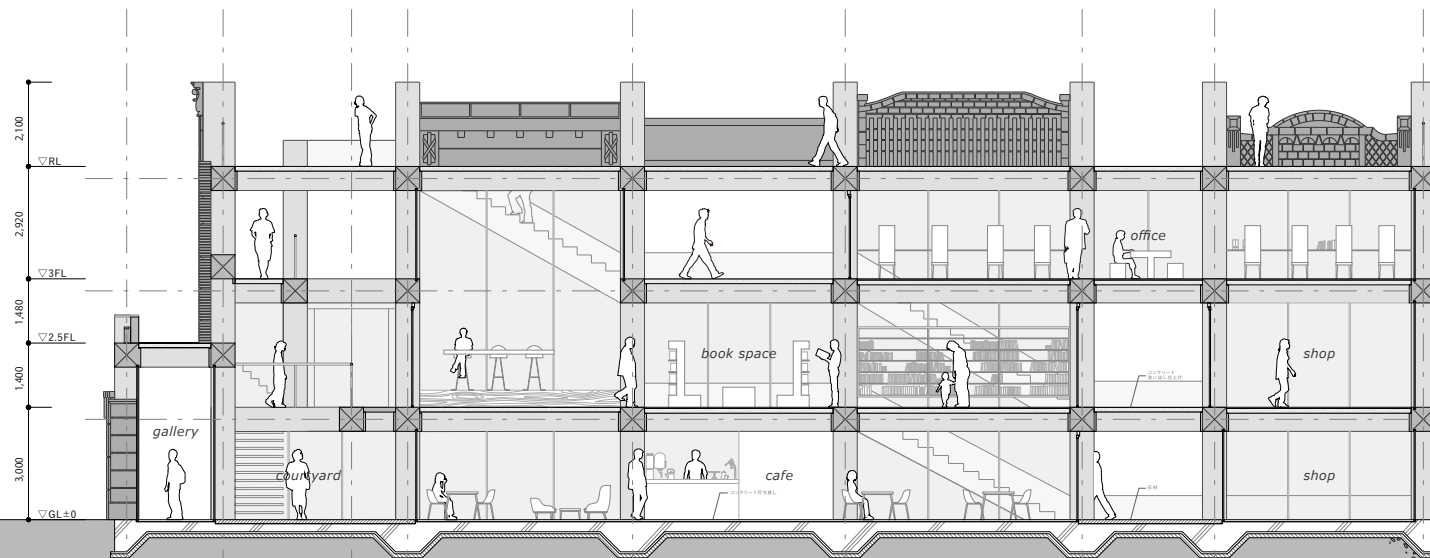
この建築は立面から決まる。建築因子を〔視線の保存〕に従い平面座標はオリジナルのポジションに、水平座標は同じ種類の建築因子をまとめてマッピングする。



震災復興棟/銀行建築面①の断面



震災復興棟/看板建築面①の断面



### 複合施設の提案

周辺環境や現在都市の中で不足している機能をリサーチし、店舗・ギャラリー・オフィス・カフェなどのプログラムを挿入する。



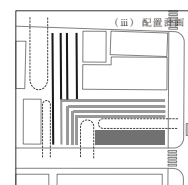
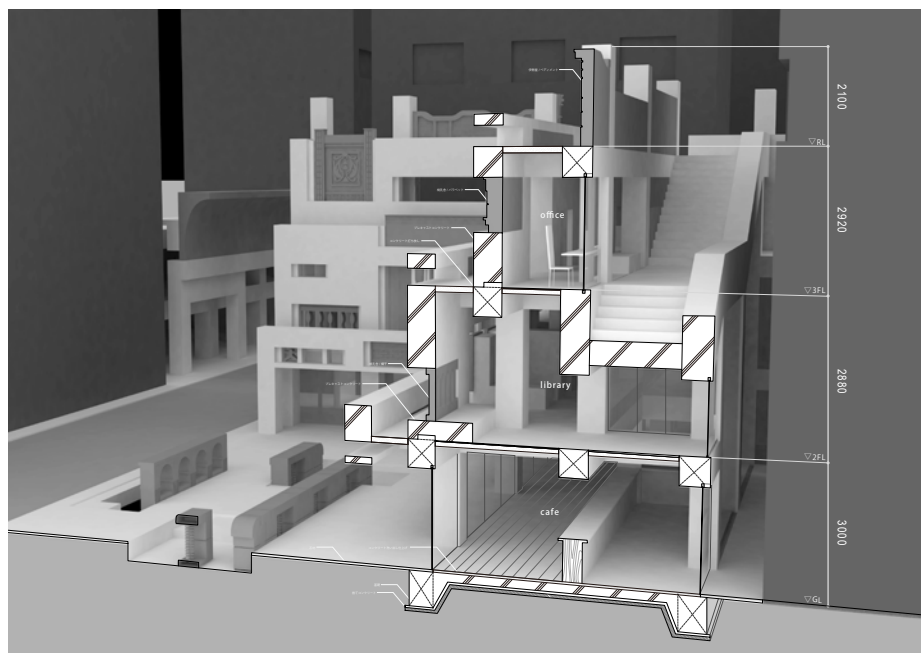
section 0 2 4



銀行建築面 1:20 model

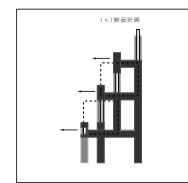


看板建築面 1:20 model



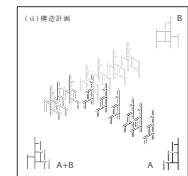
着脱のヴォイド

建築団子の挿入部出は21クレーン車(外寸: 長さ×幅×高さ=5900×1900×2700)で広場から着脱することを想定し、車両が入るようにヴォリュームを成形させる。



立面を引き出す

立面から断面を考える。[Tangible]より人がアプロウチできるような立面を引き出す。その時にできた外部空間と元々ある内部空間を建築団子のケースが覆っていく。



都市のモジュール

構造は立面から決定された3つの断面フレームを連続させる。フレームのスパンは立面のマッキングから決定し、柱の位置も既存する建築団子を継ぐ柱の寸法から抽する。

